



みなみの風

南の風はあったかい

Minami Lounge Information

Vol.9
2013年3月

図書館の基本

図書館ってどんなところ？と聞かれたら、皆さんはきっと「本を借りたり、本を読んだりする場所」と答えるでしょう。正解です！横浜市では、各区に市立の図書館があります。南区では、京急の弘明寺駅の近くにひっそりと建っています。



利用登録： ・初めて本を借りるときに必要。

・本人を確認できる書類(車の免許証、学生証、健康保険証領収書など)。

公共料金

借りる： 登録カードを持っている本人がすべての市立図書館から借りられます。

1回6冊まで、期間は2週間。他に予約が入っていなければ、1回だけ延長することができます。

借りたい本と登録カードを受付カウンターに持ってきてください。

返す： ・期日内にすべての市立図書館で本を返すことができます。

・図書館が閉まっているときは、「返却ボックス」に本を入れてください。

・本を直接本棚に戻さないでください。

図書館の面白さ

図書館の意外な一面

図書館は本を読むだけでなく、いろいろなサービスもあります。ここでちょっと紹介します。

レファレンスサービス：

図書場所が分からない、お仕事に必要な情報、調査・研究の資料探しなど、職員は親切に教えてくれます。

インターネット閲覧サービス：

見られるコーナーがあります。学習に関する調べものなら、無料で30分間使えます。他の人がいなければ延長もできます。

障害者へのサービス：

視聴覚障害者には対面朗読や録音資料・点字資料を提供します。

読み聞かせ活動：

各図書館では、小さい子どもでも本に馴染めるようにボランティア団体の協力を得て、定期的に読み聞かせの会が行われています。

右の表は南図書館で2月に行われた一例です。

日本のむかしばなしや、民話、世界各国の童話など、外国人のお母さんにとって、とてもありがたいサービスです。

お子さんは日本の幼稚園や小学校に入ると、お友達と共通の話題ができるようになります。

外国の図書：

中央図書館や南図書館に外国語の本のコーナーもあります。小説や雑誌が読めますので、是非一度見に行ってみてください。

市立図書館の多言語案内

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/foreign/>

5歳以上のお子さんのためのおはなし会

3歳以上のお子さんのためのおはなし会

親子おはなし会

<1>午前10時30分～ (0～2歳児と保護者)

<2>午前11時30分～ (2～4歳児と保護者)

南区から世界が見える！おはなし会 ～ヨーロッパ編～

〔語り手〕神奈川県立横浜国際高校の生徒のみなさん



ラウンジからのお知らせ

4月以降の講座・イベント

★マンツーマンで日本語を勉強しませんか★

4月から始める新しい形の日本語ボランティア教室です。

おすすめ：日本語学校などで勉強しているが、会話練習の相手がほしい人*日本語教室の時間に合わないあるいは日本語教室以外でも勉強したい人*漢字の読み書きを勉強したい人など。学習者の個人的ニーズに合わせて勉強します。

連絡先は、みなみラウンジ(電話232-9544)です

★「みんなで楽しむ国際交流」★

サロンになりました

みなみラウンジが活動拠点。お国の言葉で自己紹介・フラダンス・茶道・ヨガ・中国餃子づくりなどを通して文化交流を行いました。今後は自主活動として「国際交流サロン」(親子で参加)を第4月曜日に開くことになりました。子育てや生活について情報交換から始め、参加者の意見で進めていきます。



★最低賃金って知っていますか

法律に基づいて国が決めた賃金の最低額で、すべての事業主が労働者に対して、それ以上の賃金を支払わなければいけません。正社員だけでなく、臨時・パート・アルバイトにも適用します。2012年10月1日から神奈川県は、時給849円(13円引き上げ)になりました。

この最低賃金は、神奈川県で働くすべての人にあてはまります。

賃金や労働トラブルで困ったときは、次の場所で相談してください。

■外国人労働相談

- ・ かながわ労働センター(中国語・スペイン語・ポルトガル語) <http://m.r.cbz.jp/xquu6977/mtu9>
- ・ 神奈川労働局(英語・スペイン語・ポルトガル語) <http://m.r.cbz.jp/xquu6977/bmq4>

まちの風景



商店街を通して日本を見る

日本に来る外国人の多くは、観光地や温泉とともに、商店街にも大変興味深く見たいところの1つです。そこに行けば一般市民の生活を窺えて、一味違う体験ができるからでしょう。

日本の商店街は、江戸時代に街道沿いに発達した宿場町や寺院の門前町あるいは港近辺に由来のものが多くと言われています。戦後の復興と共に再び発展し、ハマの百貨店とも呼ばれた繁栄期がありました。しかし、人々の生活スタイルや意識の変化、大型店舗やスーパーの開店、そして少子高齢化など時代の変化と共に、商店街も一部を除いて衰退の一途を辿っています。

そんな中で、横浜市の中でもにぎわいを保ちながら、地域に愛されている商店街があります。今日は、その一つ「横浜橋通商店街」をご紹介します。

横浜橋通はまさに鎌倉街道に沿い、大鷲神社があり、近くに港がある場所に位置しています。したがって、昔から食料品を中心に、身の回りの生活用品や衣料品、さらには食堂や居酒屋も揃っています。それから、特徴といえば、中国・韓国・タイ・フィリピンなど多国籍の店が多く、大衆演劇の「三吉演芸場」も近くにあります。近隣の住民だけでなく、周辺の飲食店からも仕入れに利用され、遠方の「愛好家」までいるほど愛されている商店街です。

皆さんもぜひ横浜橋通商店街に来てみて体験して、身近なところから日本を肌で感じてください。

祖国からのお客さんが見えたら、ぜひ商店街に連れてきてください。

いいお土産ができるのではないのでしょうか。



みなみの風(多言語情報紙)

発行：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

(略称：みなみラウンジ)

〒232-0024 南区浦舟町3丁目46番地 浦舟複合福祉施設10階

TEL 232-9544(日本語) 242-0888(外国語) FAX 242-0897

相談時間：午前9時～午後5時

休館日：第3月曜日 および年末年始(12月29日～1月3日)